

南姫児童センター 事業評価表
 ※事業区分「1」…仕様書事業、「2」…自主事業(企画・事業)

項目	事業区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H30	平成30年度の参加人数					実施回数 2019	2019年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H30 年度	2019 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
乳幼児と保護者を対象とした事業	1	① 乳幼児クラブ 0歳 ・ベビークラブ	毎月 1, 2回	10	14	15	16	86	0	0	85	171	16	89	0	0	84	173	・南姫地域の出生率が低下している中で、後期は元年度産まれたお子さんを持つお母さん方に声を掛け、参加者の増加に繋げた。低月齢児のお母さんは特に子どもを連れての外出が難しく、児童センターに来て他のお母さん方と話をすることがストレス解消となると喜ばれ、お母さん同士の仲間づくりの場として支援することができた。
		② 乳幼児クラブ 1歳 ・ぴよぴよクラブ	毎月 1, 2回	10			16	143	0	0	117	260	15	77	0	0	77	154	・後期は1歳半健診後に保健センターの教室に通われる方、2人目を出産される方で参加人数が減少したが、少人数で行うクラブは自分の子どもだけでなく他のお子さんの姿に目を向ける時間ともなった。サーキットあそびや散歩など遊びを通し、体力作りや心の発達へと繋げたことで一緒に成長を喜び、お母さん同士の繋がりも深まった。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為に1回中止。
		③ 乳幼児クラブ 2歳 ・ちびっこクラブ ・キンダークラブ	毎月 1, 2回	10			31	162	0	0	134	296	31	251	0	0	191	442	・2歳児のクラブでは子どもの成長に合わせ、身体を使う遊び、簡単なルールを理解して友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ遊び等内容を工夫し、お母さん方にもお子さんの成長を感じながら、一緒に楽しんでいただいた。他地域からの参加も多く、親子で児童センターへ来ることを楽しみにしていただき、内容も満足したという意見を多くいただいた。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為にちびっこクラブは1回中止。
	小 計						63	391	0	0	336	727	62	417	0	0	352	769	
	2	④ 乳幼児 自主事業 ・英語であそぼう（半期5回） ・音楽であそぼう（半期5回） ・幼児トランポリン（毎月） ・幼児おはなしなあに（毎月） ・こどもランド（毎月） ・ボールプールあそび ・幼児水あそび（夏季） ・おえかきあそび ・ママビクス ・バランスボール	随時		15	15	79	572	21	0	468	1061	81	553	18	0	485	1056	・毎月季節に合わせた内容のこどもランドを実施した。元年度は0歳から3歳までの乳幼児親子に楽しんでいただけるよう内容を見直し、低月齢児には寝相アートを用意するなど、ニーズに合った内容を工夫したこととお母さん方にも好評だった。0歳児の乳幼児親子の参加も増え、後半は参加者が倍以上に増加した。他地域からの参加者も半数を占めることがあり、こどもランドをきっかけに児童センターを利用していただく方が増えた。 ・大きな紙に絵の具やスタンプなど様々な素材を使って描くおえかきあそびが好評で10月より新規で毎月行った。 ・音楽であそぼう・こどもランド・ボールプール・トランポリン・おはなしなあに・おえかきあそびが新型コロナウイルス感染拡大防止の為に各1回(計6回)中止。
小 計							79	572	21	0	468	1061	81	553	18	0	485	1056	

項目	事業 区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施 回数 H30	平成30年度の参加人数					実施 回数 2019	2019年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H30 年度	2019 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
児童を 対象とし た事業	1	① 一輪車クラブ	月2回 程度	6	15	15	18	0	121	0	4	125	18	8	123	3	9	143	・一輪車クラブでは同じ学年でも一輪車の技術に差があり、演技披露の技を決める時に意見の食い違う姿もあった。子ども同士で考え、話し合いを持たせることで、相手の気持ちを理解したり、相手を思いやることを学ぶことができた。 ・子どもスタッフではデイサービスやグループホームを訪問し、施設のみなさんに喜んでいただくことで自分たちの活動の意義ややりがいを感じることができた。 ・チャレンジクラブ、ハンドメイドクラブでは運動遊びや製作など自分たちでやりたいことを考え、異年齢の仲間と一緒に取り組むことができた。 どのクラブも子ども達の心の成長に大きく関わっていると感じる。 ・チャレンジクラブ・ハンドメイドクラブは台風、インフルエンザの流行で学級閉鎖、新型コロナウイルスの影響で各3回（計6回）中止。 ・一輪車クラブ・子どもスタッフクラブは新型コロナウイルス感染拡大防止の為各3回（計6回）中止。
		子どもスタッフクラブ					14	0	102	0	0	102	12	0	57	0	0	57	
		チャレンジクラブ	月1回 程度				9	4	74	0	4	82	7	4	61	0	4	69	
							9	0	78	0	0	78	7	3	44	0	2	49	
		ハンドメイドクラブ	9				0	78	0	0	78	7	3	44	0	2	49		
	② ボランティア活動 ・チョボラ（毎月） ・被災地支援（夏季）	随時	23	0	102	4	0	106	25	1	85	5	1	92	・デイサービスの誕生日カード製作や交流のある被災地大槌町に手作りプレゼントを贈った。チョボラとして毎月いろいろなお手伝いを子ども達に行ってもらうことは習慣づいてきて、高学年男子児童も嫌がることなく参加してくれるなど姿が変わってきた。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為4回中止。				
	小 計							73	4	477	4	8	493	69	16	370	8	16	410
2		③ 児童 自主事業 ・小学生トランポリン（毎月） ・小学生おはなしなあに（毎月） ・チャレンジ番付（毎月） ・みんなであそぼう ・つくっちゃおう ・季節行事 （母の日のプレゼント作り等） ・卓球教室・卓球大会 ・消火＆煙体験・防犯教室 ・一輪車交流会（大原合同） ・子どもスタッフ交流会 （7館合同） ・壁面作成 ・くらし人権課巡回	随時		15	15	104	92	920	3	83	1098	118	48	850	25	31	954	・毎月行う行事は子ども達の来館しやすい曜日に設定することで参加者が増えた。 ・季節行事や製作は設定時間以外にも対応し、やりたいけどできないという子が少なくなるよう配慮した。 ・30年度行ったひめっこトレジャーハンターは低学年児童に難しかったため、元年度は誰でも参加しやすいよう子ども達に人気の卓球を新規に行った。講師を招いて卓球教室を行ったり、中学生ボランティアと卓球大会を開催したりするなど子ども達の満足度も高かった。 ・複合施設のため小学生の参加できる日時に防災訓練ができなかったため、夏季休暇に小学生を対象に消防署の方を招いて防災訓練を新規に行った。 ・高学年児童と低学年児童が一緒になって遊ぶ、みんなであそぼうは子ども達に好評のため、月1回開催から2回以上随時開催に変更した。 ・土曜日は習い事やクラブなどで来館できる時間もそれぞれなので行事を行う際は、配慮しながら臨機応変に対応することで喜ばれている。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為、おはなしなあに・トランポリン・つくっちゃおう・チャレンジ番付は各1回、みんなであそぼうは6回（計10回）中止。
小 計							104	92	920	3	83	1098	118	48	850	25	31	954	

項目	事業区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H30	平成30年度の参加人数					実施回数 2019	2019年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H30 年度	2019 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
地域・多世代間交流事業	1	① 児童館まつり ・ふれあいセンター姫夏まつり ・ふれあいセンター姫まつり (新型コロナウイルスの影響で中止)	年2回	1			2	39	52	1	219	311	1	20	15	1	90	126	・デイサービス、包括、老人センターと協力して夏祭りを開催し、乳幼児から高齢者まで一緒にゲームや盆踊りを楽しみながら交流を持つことができた。 ・3月7日に予定していたふれあいセンター姫まつりでは、一輪車クラブ、子どもスタッフクラブの子ども達が準備を進め、母親クラブや地域のみなさん、他機関の協力を得て、開催を計画していたが新型コロナウイルスの影響で中止となり、地域の方々からもとても残念に思っているというご意見をいただいた。
		② 移動児童館 ・30区夏まつり ・サマーわんぱくまつり ・南姫公民館まつり ・スポーツミニフェスタ ・ひめっこ映画会 ・30区どんど焼き	随時		15	15	6	200	417	73	356	1046	6	196	400	50	629	1275	・地域の行事に参加し移動児童館として実施している。地域では児童数の減少から年々地域行事の参加者の減少が問題視されている。児童センターで来館児童に参加者を呼びかけたり、移動児童館を実施することで、参加者増加に繋がっている。 ・どんど焼きでは餅つき体験を担当し、子どもから大人まで多数の参加があった。
	小 計						8	239	469	74	575	1357	7	216	415	51	719	1401	
	2	③ 地域・多世代 自主事業 ・デイサービス合同行事 (七夕会など季節行事) ・老人センター合同行事 (節分会など季節行事) ・うながっぱがやってくる	随時		14	15	13	63	87	2	409	561	13	37	82	5	357	481	・デイサービスとはほぼ隔月に合同で行事を実施し、はじめは児童とデイサービス利用者との距離があったが、交流が深まるゲームなど内容を工夫することで自然と距離が縮まり、子どもが自分で気づいたり考えたりし、お年寄りに手を差し伸べお手伝いするなど行動するようになった。 ・老人センターとの合同行事では新規に寄せ植えを行ったり、若いお母さんが老人センター利用者に料理やしめ縄など伝承行事を指導していただいたりという良い関係を築いている。 ・南姫地域でも核家族で暮らす子が多く、児童センターで多世代間の交流が行えることは、年上の方を敬ったりいたわったりする心を育むことに繋がっていると感じる。 ・今年度はデイサービスの日程の都合で予定していた合同運動会が取りやめとなる。老人センターとの卓球大会は新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止。
		小 計					13	63	87	2	409	561	13	37	82	5	357	481	

項目	事業 区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施 回数 H30	平成30年度の参加人数					実施 回数 2019	2019年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H30 年度	2019 年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
中 高 生 事 業	1	① 中高生 ボランティア ・吹奏楽部演奏 ・乳幼児とのふれあい ・ふれあいセンター姫まつり ボランティア	随時	3	14	15	6	0	0	42	0	42	13	0	0	38	0	38	・南姫中学校吹奏楽部の部員不足で後期は演奏不可能になったことや3月に予定していた姫まつりが中止になってしまったことで参加人数は減少してしまった。しかし元年度はボランティアを長期休みに限らず、学校休業日の土曜日にも募集したことで中学生の来館が増えた。日常的に声を掛け、小学生に卓球や一輪車の指導などボランティアの機会を増やした。ふれあいセンター姫まつりにボランティアを募集したところ14名の申し出があり、児童センターでの活動に興味を持つ生徒が増えてきたと感じる。 ・ふれあいセンター姫まつりが新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止。
	小 計						6	0	0	42	0	42	13	0	0	38	0	38	
	2	② 中高生 自主事業 ・中高生とあそぼう	随時		12	13	6	1	24	12	1	38	6	4	20	12	3	39	・中学生同士で遊びたい、職員と卓球の勝負がしたいとの理由で来館する生徒が多かったが、職員が仲立ちすることで、中学生と小学生との距離も縮まり、設定した日以外にも自然と中学生が小学生の相手をして遊んでくれるようになった。児童センターできっかけを作ることで自発的に動ける姿が増えることは理想である。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為に1回中止。
	小 計						6	1	24	12	1	38	6	4	20	12	3	39	

項目	事業 区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施 回数 H30	平成30年度の参加人数					実施 回数 2019	2019年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H30 年度	2019 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
子育てネットワークづくりの推進	1	① 相談事業 ・子育て相談日（毎月）	月1回	12			12	10	0	0	7	17	11	10	0	0	10	20	・相談日を毎月設定しているが相談日以外に相談にみえる方がほとんどである。日常的に来館者に声を掛け、お母さん方との信頼関係を深めることで相談者も増え、育児に対する悩みやお子さんの発達に対する悩みなど多く相談を受ける。些細なこともお母さんにとっては深刻な悩みであって誰かに話を聞いてもらうことで心が軽くなることも多い。毎回「先生に話を聞いてもらえて良かった」との言葉をいただいた。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為1回中止。
		② 講習・講演・多連携 ・親育ち4363たじみプラン協賛事業 「第13回多治見わんぱくまつり」 ・「どすこい児童館すもう体験」 ・「どきどき！わくわく！風船太郎バルーンショー」	随時	2			5	43	56	1	63	163	4	36	71	1	65	173	・ボーイスカウトとの連携のわんぱくまつりでは、児童センターの遊びのブースが好評で、たくさんの参加があり児童センターを知っていただく機会となった。 ・7館合同の相撲体験やバルーンショーは、地域的に開催場所から距離があり参加を躊躇されがちだが、参加者からは「楽しかった」「また参加したい」との声をいただいている。子どもだけでなく大人も楽しめる内容となっており、今後も開催場所や時期を考慮しながら続けていきたい。 ・9月に乳幼児自主事業として行ったヤクルト健康講座が好評で、小学生から参加したいとの要望に応え、春休みに誰でも参加できる講座として計画していたが新型コロナウイルスの影響で1回中止。 ・令和元年度は夏の科学工作の参加人数（26名）を児童自主事業でカウントしている。
		② 母親クラブ ・活動支援 ・児童センター共催 「みんなの健康教室」	随時				8	43	7	1	50	101	2	11	1	2	17	31	・保健センター職員を招いて新規に行った健康教室は予想以上に関心が高く、保健センターまで行くには遠いが近くの児童センターで行ってもらえることはありがたいとの声が多かった。子育て中は自分の健康は後回しになりがちの中、自分の体について学んでいただくことができ満足度が高かった。 ・元年度はバランスボールを乳幼児自主事業でカウントしているため、回数（3回）・参加人数（37名）とも減少している。 ・新型コロナウイルスの影響で1回中止地。 ・母親クラブ会長が多忙なため、活動が難しくなってきたので、会長を交代して存続していくか、一度終わりにするのか検討している。
	小 計						25	96	63	2	120	281	17	57	72	3	92	224	
	2	③ 子育て 自主事業 ・親育ち4363たじみプラン協賛事業 「ひめのちびっこママサロン」	随時		15	15	3	36	0	0	33	69	3	39	0	0	44	83	・保健センター、公民館と共催で0、1歳児親子を対象に3回実施する。児童センターは絵本の読み聞かせや寝相アートなど児童センターならではの取り組みを行い、ベビークラブへの参加に繋がった。また児童センター職員が託児を担当することもお母さん方の信頼が高く、安心できるとの評価をいただいている。
小 計							3	36	0	0	33	69	3	39	0	0	44	83	